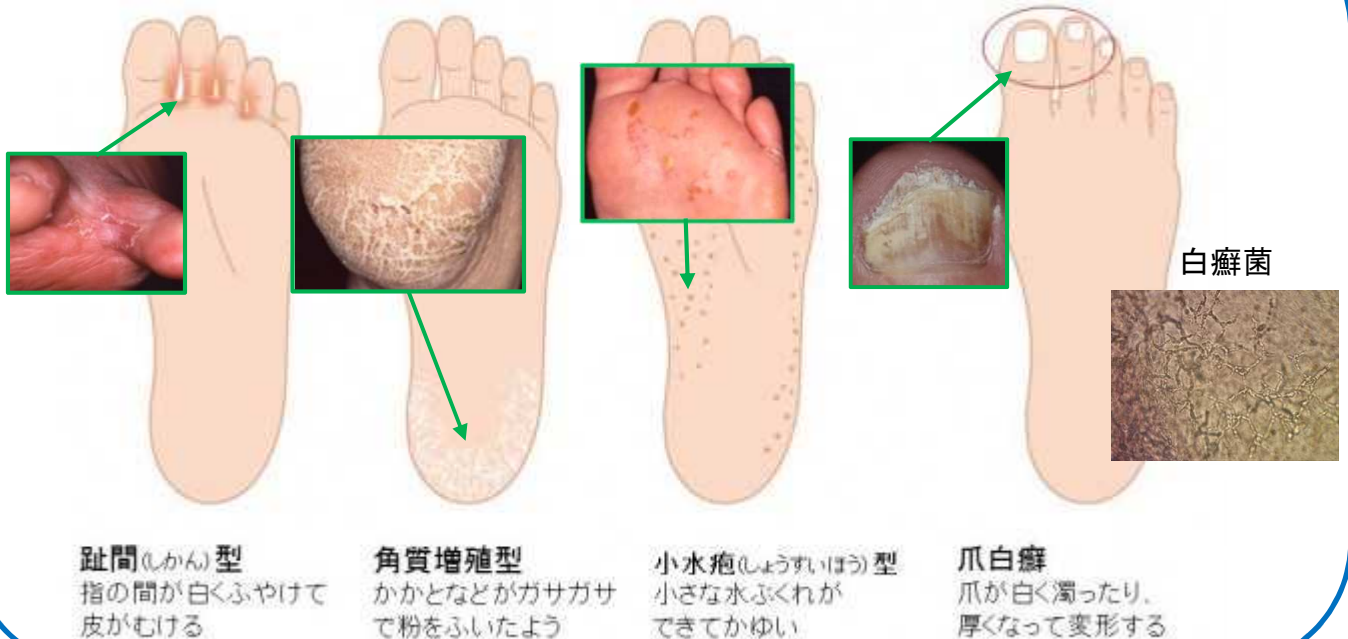


皆さん、足白癬という病気をご存じでしょうか？

水虫というと聞き覚えのある方も多いかもかもしれません。今日はそんな水虫の話です。

水虫を発症する原因として、高温・多湿な環境、足の指の間隔が狭く、蒸れやすい、小さな傷、皮膚バリア機能の低下、長靴やブーツ、分厚い靴下などの長時間着用等が指摘されています。水虫といっても様々なタイプがあり、全てかゆみを伴うというわけではなく、かゆみがないものもあります。

水虫(足白癬)には3つのタイプと、爪白癬がある



隠れ水虫という言葉の通り、あまり自覚症状がない場合は、見つけるのが難しい場合もあります。

白癬菌の確認には、患部の皮膚や爪を採取して顕微鏡で検査したり、発見しにくい場合は培養したりします。

近年、複数の薬剤が販売されていますが、爪白癬の場合は、爪の新生を待たねばならず、治療には時間がかかります。

また、趾間型の足白癬では、しばしば趾間の亀裂や糜爛面から、細菌が真皮内に侵入し、蜂窩織炎(ほうかしきえん)などの細菌感染症をおこすことがあります。

実際、蜂窩織炎の好発部位は足と下腿ですが、その多くは、趾間型の足白癬の傷口から細菌が感染したものです。感染した細菌が劇症型の溶連菌だったり、重篤化して、壊死性筋膜炎(えしせいきんまくえん)を起すと、患肢の切断や最悪、死に至る可能性があります。

特に糖尿病などの基礎疾患がある方は、神経障害などで知覚が低下していることが多く、発見が遅れる傾向にあります。普段、足をしっかり見ることは、あまりないかと思いますが、この機会に一度御自身の足の状態をチェックしてみてください。

一見するだけでは、どちらか分からない場合もあります！



蜂窩織炎



壊死性筋膜炎

